

年 組 () 名前

サイン

◆全国学力テストが5月27日に行われ、中学3年生の国語で、メールの文章を書かせる問題が初めて出されました。

学力テスト「メール記述力」問う

中3国語で出題

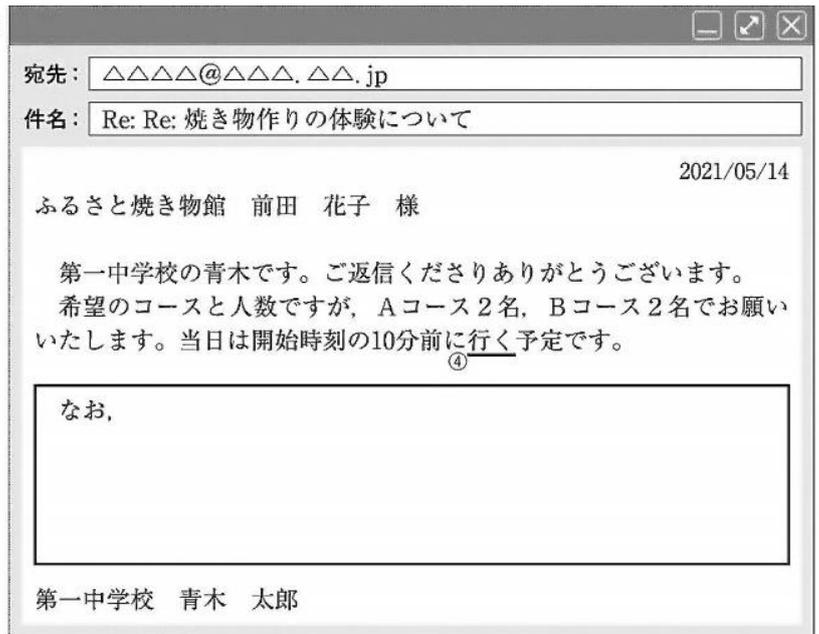
メールの問題が出たのは、中3の国語。焼き物作りの体験学習に向けて、生徒と施設の担当者がメールでやり取りをしている——との設定だ。

図1を見てほしい。テストで示された、生徒が書いたメールの下書きだ。問題では、「なお、」に続けて、持ち物や服装、写真撮影の許可について、相手に失礼のない文章を書くことが求められた。

図1の下線部を適切な敬語に書き直す問題も出された。

問題を作った国立教育政策研究所の担当者は「メールは社会に根付いており、子どもたちにも適切な文章を書く力が求められている」と意図を説明した。

(図1)



※問題と正答例は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

(2021年6月4日 読売中高生新聞より)

【1】図1の下線部④を適切な敬語^{けいご}に書き直しましょう。

[]

【2】メールの文章を書かせる問題を出題した意図^{いご}を書きましょう。

[]

【3】学力テストは、どのような狙い^{ねらい}で行われているのか、書きましょう。

[]

【発展問題】あなたはメールを書く時、どのようなことに気をつけていますか。裏^{うら}に書きましょう。

今後の教育に生かす

全国学力テストは、テストと呼ばれていても、生徒の学校の成績に反映されるものではない。

正式名称は「全国学力・学習状況調査」。国や自治体が生徒の理解度や苦手分野を把握するために行われている。結果を分析して、教育施策や指導に役立てる狙いがあるのだ。

すべての公立校が参加するため、幅広いデータを得ることができる。もともとは1956年に始まったが、競争をあおるとして、66年を最後に中止された。その後、学力の低下が問題視されたことから、2007年度に復活した経緯がある。